

34 民間活力を活かした研究の推進 [新規]

【1, 113 (一) 百万円】

対策のポイント

全国に配置したコーディネーターが収集した生産現場や民間の技術開発ニーズや消費者ニーズに基づき、民間企業等による事業化に向けた研究及び異分野と融合した共同研究を促進します。

<背景/課題>

- ・農林水産・食品分野においては、研究投資が他産業に比べ低調であり、革新的な技術の創出やその事業化が遅れ、産業技術力の強化につなげていない状況です。
- ・このため、消費者ニーズに従い、民間企業等の事業化を促進するための研究開発や遺伝子工学、医療、IT、ロボット工学等異分野の革新的な技術を農林水産・食品分野へ活用する研究開発の促進が必要です。
- ・これらの研究開発を支援するためには、農林水産業の生産現場や民間の技術開発ニーズを把握する高度な知見を有したコーディネーターの配置が必要です。

政策目標

- 事業化促進研究において、平成30年度までに実施課題の90%以上で事業化
- 異分野融合共同研究において、平成30年度までに実施課題の80%以上で事業化が有望な研究成果を創出

<主な内容>

1. 革新的技術創造促進事業

1, 000 (一) 百万円

農林水産業・産業界の技術開発ニーズや消費者ニーズ等を把握し、農林水産業、食品産業の成長産業化を加速するために必要な研究開発を支援します。

(1) 民間活力を活用した事業化の促進

農林水産業の生産現場や消費者等の多様なニーズに基づき、研究課題を設定し、民間企業等の事業化に向けた研究開発を支援します。

(2) 異分野と連携した研究開発

技術シーズ等の情報提供の場を設置し、農林水産業の生産現場や消費者等の多様なニーズ等のうち、医療や工学などの異分野と連携して研究開発を行うことが効果的な課題について、異分野の産学との共同研究を支援します。

〔 補助率：定額 〕
〔 事業実施主体：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 〕

2. 事業化を加速する産学連携支援事業

113 (一) 百万円

全国に配置されたコーディネーターが、農林水産業・産業界の技術開発ニーズ等を収集し、上記1の研究の課題設定を現場ニーズに対応したものとするとともに、研究の開発段階から産学が密接に連携し、早期に成果を実現できるよう支援します。

〔 委託費 〕
〔 委託先：民間団体等 〕

<各省との連携>

- 内閣府ほか
- ・科学技術イノベーション総合戦略に基づき、府省連携の下、医療、理農、農工、薬農などの分野融合研究を支援

〔 お問い合わせ先： 農林水産技術会議事務局 研究推進課 (03-3502-5530) 〕

民間活力を活かした研究の推進

全国に配置したコーディネーターが収集した生産現場や民間のニーズや消費者ニーズに基づき、①民間企業等による事業化を促進するための研究、②異分野と融合した共同研究を支援。

- ・ 農林水産業の生産現場や民間の技術開発ニーズ
- ・ 研究機関が有する農林水産・食品分野の技術シーズ

アレルギーのある人も食べられる食品を提供したいな

希少価値のある薬用作物を安定的につくりたいな



ニーズ・シーズの把握

全国に配置したコーディネーター

ニーズ・シーズを踏まえた
研究課題の設定・公募

民間活力を活かした研究の実施

- ・ 企業等による農林水産業、食品産業に役立つ革新的技術の事業化促進研究や異分野融合共同研究を消費者ニーズを踏まえ、実施。
- ・ 事業化促進研究にあっては、委託先企業等が、成功時に研究費の100%、不成功時に10%を返済する仕組みを設け、企業の研究開発リスクを軽減。

【想定される研究課題(例)】

- ・ アレルゲンタンパク質を含まない農産物加工技術の開発
- ・ 薬用作物を効率的に栽培する生産システムの開発

農林水産・食品分野の成長産業化

- ・ アレルギーの人でも食べられる農産物の加工品の提供
- ・ 良質な薬用作物の生産拡大、通年安定供給